

## 疫学研究・臨床研究に関する情報の公開について

<b>研究課題名</b> 当院における 85 歳以上の超高齢者に対する大腸内視鏡検査の現況
<b>研究計画</b> (1)背景・意義 大腸内視鏡検査は前処置および検査自体に身体的リスクを伴う検査であるが、85 歳以上の超高齢者における大腸内視鏡検査の有用性・安全性は確立されていない。 (2)目的 当院移転後 10 年間ににおける 85 歳以上の超高齢者に対する大腸内視鏡検査症例の現況を調査し、その有用性・安全性について検討する。 特に便潜血法による大腸癌検診により大腸内視鏡検査を行った症例においては、大腸癌の診断率およびその治療内容を検討し、必要に応じて若年者と比較することにより、超高齢者における大腸癌検診の有用性を検討する (3)方法 当院内視鏡データベース(Solemio:オリンパスメディカルシステムズ)から検査データを抽出。不足するデータを電子カルテデータから補完し、患者背景、検査理由、検査結果について探索的検討を行う。 データ集計は匿名化の上で行う。
<b>個人情報の取り扱い</b> 本研究の目的を達成するために必要な範囲を超えて診療録からの個人情報を取り扱いません。また、得られた情報は個人が特定されないように匿名化した上で、細心の注意を払い安全に管理します。 なお、本研究により得られる研究結果は個人が特定されることはない形でまとめます。
<b>連絡先</b> 東京警察病院 外科 竹之内 信(病院代表:03-5343-5611、03-5343-5612(FAX))